

26.9.29 六ヶ所山街  
耳川に稚アユ  
5万匹を放流

26.9.30



アユの養殖などを手掛ける日向市幸勝の「あめの是則」（是則由貴社長）と奈瀬鮎谷漁業協同組合（黒木東組合長）は合同で、同所の耳川にアユの稚魚約5万匹をこのほど放流した。写真。

稚アユは体長8〜10センチ（平均約9センチ）ほどに成長した約447匹。従業員と組合員らがトラックに積んだいけすからホースを使って川に投入、一部はバケツから直接、川に放った。

稚アユはしほらく付近を回遊した後、上流へ。黒木組合

長によると、10、11月に放流場所付近から約1・5キロ離れた産卵場所へ下ってくるという。

黒木組合長は例年続くからウによる被害など厳しい成育環境を懸念。「無事に大きく成長してほしい」と願いを込めていた。